

# 『一発合格！よくわかるエックス線作業主任者試験テキスト&問題集』お詫びと訂正

本書で記載されている内容に誤りがありました。読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

頁	箇所	誤	正
19	図表10		
24	下4行目	原子を放出	電子を放出
28	光電効果	熱電子として放出	光電子として放出
31	中段 先生イラストの吹き出し	B:光電効果 C:コンプトン散乱	B:コンプトン散乱 C:光電効果
56	③散乱の量と遮へい物、エックス線エネルギー、散乱角の関係(表内)後方散乱 遮へい物の原子番号の増加	減少する	増加する
59	②遮へい物材料	原子番号が大きいほど、減弱係数が小さいので後方散乱は減少します。	原子番号が大きいほど、減弱係数が大きいので後方散乱は増加します。
59	下段 先生イラストの吹き出し	～後方散乱は減少します	～後方散乱は増加します
62	要点整理の二項目目	管理区境界	管理区域境界
80	Q05	発生する部分を <b>実焦点</b> といい、これを～ものを <b>実焦点</b> という	発生する部分を <b>実焦点</b> といい、これを～ものを <b>実焦点</b> という
	A05	<b>実焦点</b> は小面積であるほど写真が鮮明になるので、 <b>実焦点</b> より小さくなるように設計されています。	<b>実焦点</b> は小面積であるほど写真が鮮明になるので、 <b>実焦点</b> より小さくなるように設計されています。
86	先生イラスト吹き出し4行目	多方法から	多方向から
94	③電離箱領域	→	3段落目「電流量から入射した～電離箱といいます。」を削除
96	①電離箱式検出器	→	3段落目「このことから～測定に使用されます。」を削除
98	①放射線検出に用いられる物理現象と放射線検出器 気体電離 電離箱	可	不可
100	固体検出器の性能比較 半導体式検出器	50keV～5MeV	30keV～5MeV
106	④放射線のエネルギー分析が可能な検出器	→	「電離箱式検出器」を削除
107	②気体の電子-陽イオン対生成とW値7行目	～大きさが比例する <b>電離箱と比例計数管</b> は	～大きさが比例する <b>比例計数管</b> は
109	図表27 放射線のエネルギーを測定できる5つの検出器	→	「電離箱式検出器」の行を削除
131	ページ三か所	電離計	電離箱計測器
141	A11	→	電離箱は「含まないもの:」になります。
177	③白内障に対する分割照射の影響	分割照射すると <b>最低線量</b> は～	分割照射すると <b>しきい線量</b> は～
200	③通常業務の被ばく限度「妊娠可能な女性」「妊娠可能な女性」	3mSv/3か月	5mSv/3か月
210	③緊急事態時に健康診断が必要な被ばく線量「妊娠可能な女性」の実効線量	3mSv/3か月以上	5mSv/3か月以上
224	A05	○	×【正しい解説】正しくは5mSv以下です。ただし、妊娠中の女性の場合は、実効線量が妊娠期間中に2mSv以下でなければいけません。
227	問2	コンプトン散乱	コンプトン効果
247	1行目	(1)「定格管電圧が10kV未満」は電離則の適用除外規定で、構造規格ではない	(1) 定格値ではなく波高値による定格管電圧が10kV以上の場合に適用される
別冊6	遮へい材料の空気カーマ率への影響	減弱係数が <b>小さくなる</b> ため～	減弱係数が <b>大きくなる</b> ため～
		～後方散乱は <b>減少</b> します	～後方散乱は <b>増加</b> します
		～鋼板に替えると <b>減少</b> します	～鋼板に替えると <b>増加</b> します
別冊11	エネルギー分析が可能な検出器	→	「電離箱」を削除
	エネルギー分析ができない検出器	→	「電離箱」を追加
	NaI(Tl)の感度とエネルギー範囲	エネルギー範囲:100k～3MeV	エネルギー範囲:30k～3MeV
別冊26	女性の被ばく限度	3か月間に3mSv	3か月間に5mSv
別冊29	女性の被ばく限度超過時の処置	3mSv以上	5mSv以上